

IHE-J2008 コネクタソン応募要領

2008.6.9

有限責任中間法人 日本 IHE 協会
接続検証委員会

はじめに

コネクタソンは、各ベンダが実装したシステムについて、IHE テクニカルフレームワークに基づいた相互接続性を有しているかどうかを、他社が開発したシステムとの接続テストを行うことにより、確認を行うものです。IHE-J コネクタソンでは、主に日本市場向けに開発したシステム・装置の相互接続性の確認を行います。

相互接続性の基準は、各ドメインのテクニカルフレームワーク及び日本版拡張とします。それぞれの統合プロファイルとアクタの組み合わせ毎に所定のテストシナリオによる接続テストを行い、他社のシステムとの接続が確認できた場合に合格とします。接続テストの結果は、ベンダ毎に、接続テストに合格した統合プロファイルとアクタとの組み合わせに対して、一覧表として公表します。

これらのテストシナリオは、テクニカルフレームワークで規定された仕様全てを検証するものではなく、限定された範囲の相互接続性について確認することがだけです。従って、コネクタソンでの合格が、IHE に準拠していることを認証するものではないことをご理解ください。

しかしながら、コネクタソンの結果表は、相互接続性の高いシステムを導入しようとする医療施設にとっては、どのベンダが IHE の仕様に準拠したシステムを提供できる実力を持つかの判断の根拠になります。また、厚生労働省においてもこの結果表を医療機関が IT 化を推進する上でのベンダ選定のための参考資料として提供することを計画しております。

以上の IHE-J コネクタソンの目的をご理解いただき、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

IHE-J コネクタソン 2008 実施概要

日程： 2008年10月27日（月）～ 10月31日（金）

場所： 東京都立産業貿易センター 台東館
〒111-0033 東京都台東区花川戸 2-6-5

テスト対象：

本コネクタソンでは、次の4つのドメイン（部門）を接続テストの対象とします

- (1) 放射線検査 (Radiology)
- (2) 臨床検査 (Laboratory)
- (3) 循環器部門 (Cardiology)
- (4) IT インフラ (IT Infrastructure)

対象とするプロファイルは下記とします。(変更される場合があります)

- (1) 放射線検査

SWF、PIR、CPI、PGP、ARI、KIN、SINR、CHG、PWF、RWF、
ED、PDI、NMI、XDS-I、MAMMO、IRWF、FUS、TCE

- (2) 臨床検査

LTW、LDA、LPOCT、LCSD、LBL、XD-LAB

- (3) 循環器部門

CATH、ECHO、ECG、ED、DRPT

- (4) IT インフラ

XDS、XDS.b、PIX、PDQ、PAM、ATNA、CT、EUA、RID、PSA、PWP

上記のプロファイルに登場するアクタ全てを対象といたします。

応募用紙ファイルにアクタとプロファイルの対応表を添付しましたので、ご参照ください。

参加するシステムの条件

コネクタソンに参加できるシステム・機器は、製品もしくは製品化を目的とした完成度の高い試作品に限定いたします。開発途上のもの、ミドルウェアなど、医療施設などのエンドユーザに直接納められないものは、対象といたしません。

合格基準

参加されたシステム毎に、申請されたアクタ・プロファイル毎に定められた所定のテストを他社の異なる3システム以上と接続が確認された場合に、それぞれのアクタ・プロファイルについて合格といたします。参加システムが少なく、接続相手となるアクタ・プロ

ファイルが 3 システム未満の場合、他の手段で接続検証が可能な場合に限り、3 システム未満の接続確認でも合格といたします。この場合は、事前にその組み合わせを公表いたします。それ以外の場合は、それらのケースについてはテストの対象から除外させていただきます。

2007 年度の IHE-J コネクタソンに参加したシステムで、再度参加するシステムについては、支援参加の扱いとさせていただきます、追加料金の対象とはいたしません。また、昨年度合格したアクタ-プロファイルについては、接続テストを実施しなくとも合格の扱いとさせていただきます。ただし、他のベンダからの接続要求、審査員の指示による接続試験については、必ず実施してください。

結果の公表

合格したシステムについては、合格したプロファイルとアクタの組み合わせについて、ベンダ毎にとりまとめて、その結果を公表いたします。日本 IHE 協会および IHE Europe の Web サイトに掲載するほか、学会展示会等において配布を行います。また、厚生労働省や経済産業省からも公表される予定です。

コネクタソンでのテストは、テクニカルフレームワークで規定されているすべてのケースでのトランザクションをカバーしていません。ある限られたシナリオでの他社システムとの接続性の確認を行うだけですので、「合格」したからといって、IHE のテクニカルフレームワークに準拠した実装であることを保証するものではありません。コネクタソンの結果としては、参加したベンダについて、特定のプロファイルとアクタにおいて所定のテストに合格しということのみを公表いたします。ベンダ各社においては、コネクタソンに「合格」したことをもって、「IHE の認証を得た」「ゴールドスターを取得した」というようなことを謳うことはできません。

IHE 適合宣言書

IHE のテクニカルフレームワークに準拠した実装であることは、各社の責任で公表することをお願いいたします。IHE では統合宣言書 (Integration Statement) の書式を用意しておりますので、各社はそれぞれの製品毎にこの統合宣言書をお作りいただき、顧客に提示いただくようお願いいたします。この宣言書は、コネクタソンの参加の有無にかかわらず、各社の責任においてお作りいただけます。DICOM の適合遷化書と同様とお考えください。

コネクタソン参加各社で作成いただいた適合宣言書については、コネクタソンの結果を Web サイトで公表する際に、各社の統合宣言書掲載 Web サイトへのリンクを張らせていただきたいと思います。

参加費について

一般の参加費は、50万円です。これで、3システムまでの参加が可能です。
4システム以上の場合、1システムにつき10万円の追加参加費をいただきます。

日本 IHE 協会の A 会員の場合の参加費は、30万円です。一般と同様に3システムまでの参加が可能です。4システム以上の場合、1システムにつき、5万円の追加参加費をいただきます。

1つのシステムに、複数のドメイン（部門）のプロファイル・アクタを実装している場合でも、1システムとして扱います。

同一のシステムを複数セットで参加する場合は、セット数分のシステムで参加するとの扱いとさせていただきます。（昨年度とは扱いが異なりますので、ご注意ください）

「支援参加」の扱いについて

一般・協会会員にかかわらず、4システム以上の参加の場合で、追加分のシステムが、昨年度実施した IHE-J2007 コネクタソンに参加し合格したものである場合、そのシステムについては「支援参加」の扱いとし追加参加費は免除いたします。新たに参加したシステムとの接続検証をご支援いただくとの位置づけです。従って、新たなアクタ・プロファイルの追加をされた場合及び実装が大幅に異なる場合は、この扱いはいたしません。「支援参加」の場合、今年度の結果表に昨年度と同じ結果を掲載させていただきます。

応募方法

添付の応募用紙 (MS EXCEL) に、直接ご記入いただき、電子メールの添付書類として、日本 IHE 協会の事務局宛、お送りください。記載方法は、後述の記載要領をご覧ください。

送付先： 日本 IHE 協会事務局 ihe-cnt-office@ihe-j.org

締め切り： 2008年6月30日（月）午後5時

参加費の支払い

応募書類の記載内容について不備がなければ、受付を行い、参加費の請求書を責任者宛にお送りいたしますので、7月末までに、指定の口座まで振り込みをお願いいたします。経理上の理由等で、7月末までに支払いできない場合は、早急に事務局宛ご相談ください。

問い合わせにつきましても、上記事務局宛お願いいたします。

以上

応募用紙記入要領

添付の応募用紙に、下記の要領に基づき記入し、電子メールの添付書類として、日本 IHE 協会事務局宛、締め切り日までにお送りください。

社名

正式の社名と英語名をご記入ください。

コネクタソンの結果の発表・デモンストレーションの際に、そのまま表記させていただきます。

住所

請求書を送付させていただく責任者のいらっしゃる部署の住所をご記入ください。本社所在地ではありません。

IHE 協会会員番号

日本 IHE 協会の A 会員の各社に対しては、参加費を優遇させていただきます。会員番号をご記入ください。本応募の時点で、申込手続き中であれば、会員として扱わせていただきますので、「申込中」を■としてください。

記載の無い場合は、非会員として扱わせていただきます。

協会への入会につきましては、本応募の前に入会申込をお願いいたします。

連絡窓口代表者

本コネクタソンへの参加にして今後の連絡窓口として会社を代表される方をご記入ください。今後の連絡は、こちらに記載された方にさせていただきます。

参加費の請求を別の方にお送りする場合は、請求書送付先を別途ご記入ください。

「参加システム」の記載方法

参加する 1 システム毎に、ご記入ください。

「システム名」

参加システムの「製品名」「商品名」をご記入ください。試作品の場合は、一般的な名称、開発コード名で結構です。

「アクタ」

参加システムに実装するアクタを 1 つ以上記載してください。略号は使用しないで、テクニカルフレームワークに記載の名称（英語）をご記入ください。

4つ以上のアクタを実装する場合は、欄を追加してご記入ください。

「プロフィール」

それぞれのアクタが対応する統合プロフィールをご記入ください。前述の対象プロフィールに示しました略号を、1行に1つずつご記入ください。

4つ以上のプロフィールに対応する場合は、欄を追加してご記入ください。

各ドメインでの、それぞれのアクタが、どのプロフィールの対象になるかの対応表を、応募用紙ファイルの **Actor-Profile** 対応表シートに添付しましたので、参考にしてください。

「オプション」

それぞれの統合プロフィールでは、アクタ毎にオプションの仕様が規定されている場合があります。それらのオプションに対応している場合は、オプション名をご記入ください。放射線部門のオプションにつきましては、応募用紙ファイルの **Radiology Option** のシートを参考にしてください。他のドメインにつきましては、テクニカルフレームワークをご覧ください。

「日本版拡張」

日本市場への対応として必須として考えております、患者氏名等での日本語表記の扱い、HL7V2.5 の採用、HL7 通信でのプロトコル等で、日本版拡張が行われています。この日本版拡張への対応は、必須とさせていただきます。内容については、7月のワークショップで説明いたします。

「備考」

システムの仕様上の特記事項などありましたら、記載してください。

「2007参加」

昨年度実施しました **IHE-J2007** コネクタソンに参加し、合格されたシステムにつきましては、支援参加の扱いとさせていただきます。ただし、昨年度のコネクタソンでの実装に対して大幅な変更のないこと。あらたなアクタ・プロフィールの追加がないことが、条件です。

この場合は、「2007参加」の項を■にしてください。

以上